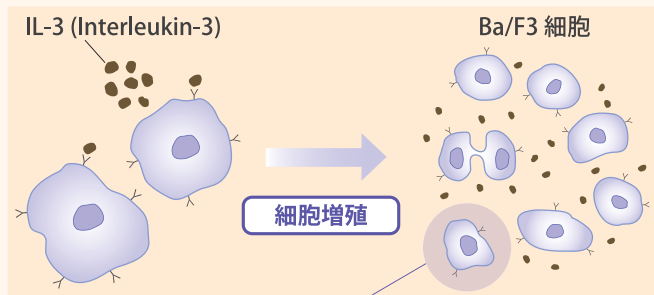
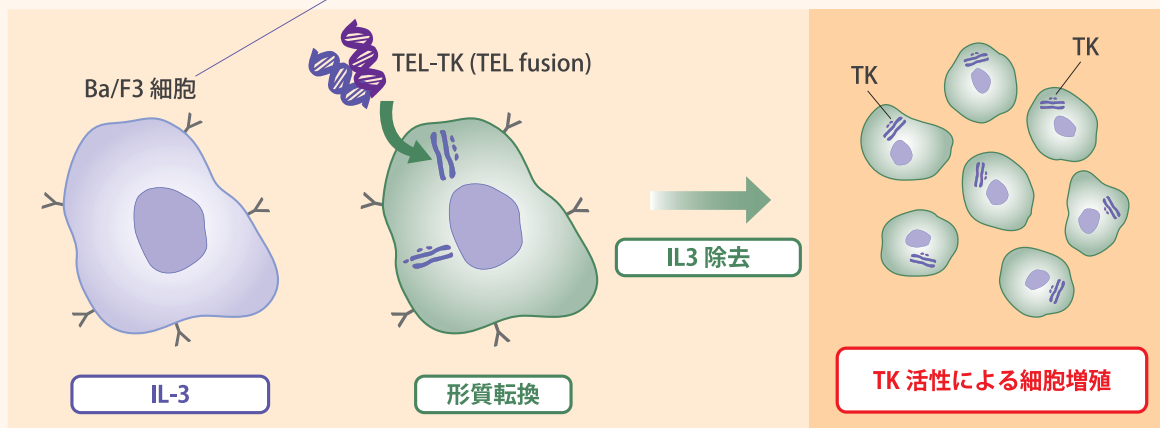


# ACD 社 セルベースチロシンキナーゼアッセイの原理

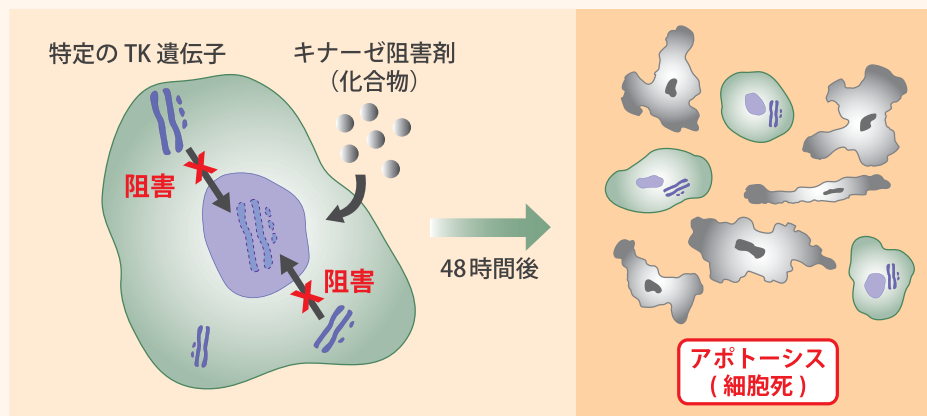


ACD 社が行なうセルベースチロシンキナーゼアッセイの原理は Daley & Baltimore (1988)\*の研究論文に基づきます。IL-3 依存性に増殖する Ba/F3 細胞に特定のキナーゼを発現させて IL-3 依存性を欠失させると、細胞が発現させたキナーゼ活性に依存して増殖する原理を利用しています。

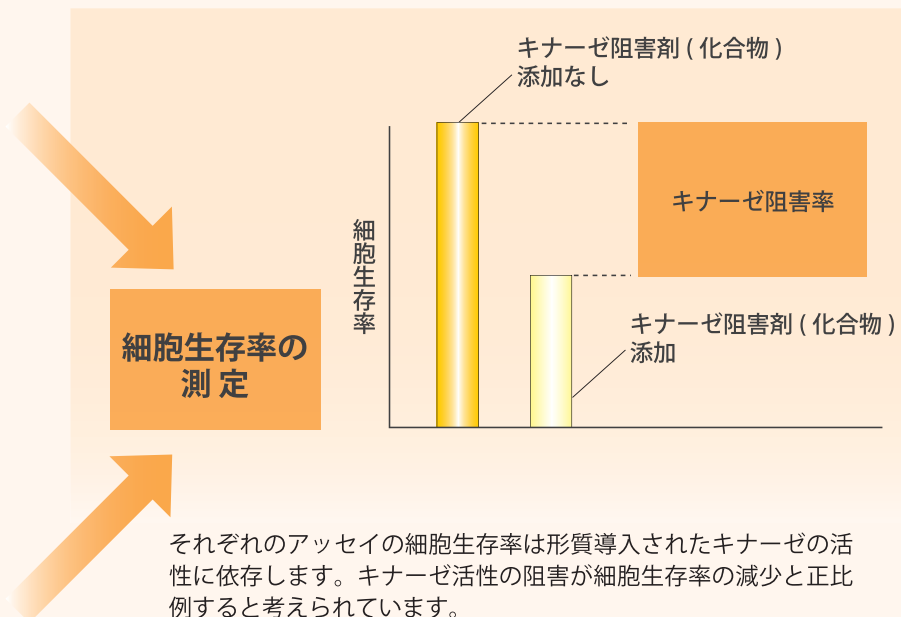
\* Daley and Baltimore; Proc. Natl. Acad. Sci. USA. 1988; 85(23):9312-6



ウイルスベクターによって特定の TEL-TK 遺伝子を Ba/F3 細胞に形質導入します。発現したキナーゼ活性は細胞増殖に必要な IL-3 依存性をなくします。



キナーゼ阻害剤 (化合物) が発現させたキナーゼの活性を特異的に阻害する場合、化合物で処理された細胞はアポトーシス (細胞死) を引き起こします。



本サービスに関するお問合せは

**カルナバイオサイエンス株式会社**

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

電話：078-302-7091 / FAX：078-302-7086

E-mail：info@carnabio.com

URL：www.carnabio.com